



保育目標
(目指す子ども像)

- ・ 挨拶のできる子
- ・ 心身ともに健康な子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 自ら考え、進んで行動できる子

きんもくせいの香りが、爽やかな秋を感じさせる季節となりました。

引渡し訓練では、ご協力いただきありがとうございました。いつ起こるかかわからない災害に備え、ご家庭と園とで更なる共有をしていきましょう。

幼児は、中秋の名月についての日本の風習や外国の様子などのお話をしました。その後、一人ひとりお団子を作り、すすき、野菜、果物と共に玄関ホールに玄関に飾りました。

9月28日には、らいおん組の子どもたちを対象に、東京都サッカー協会主催の「サッカー教室」を開催しました。子どもたちは、大喜びで楽しいひとときを過ごすことができました。諦めない気持ちを大切にすることや「ノーサイド」、皆、仲間だということをサッカーを通して教えていただきました。来年対象になるきりん組の子どもたちも見学し、来年を楽しみにしていました。

幼児は10月21日に運動会を開催します。今年も新型コロナウイルス感染症に慎重に対応するためクラスごとの「運動会」として行います。ぱんだ組は体操に取り組んで半年、運動能力もついてきました。きりん、らいおん組もより成長した姿がご覧いただけると思います。

乳児は、11月に参観を予定しています。楽しみにお待ちください。

度重なるご理解とご協力をお願いして恐縮ですが、11月に給食室の全面改修工事を行います。その間、外部調理のお弁当となります。12月には、新施設でよりよい給食を提供していきたいと思えます。

先月、父母会役員さんを中心に皆さんで「リ・ユースコーナー」に取り組んでいただきました。国連提案の「SDGs」が叫ばれている現在、再利用(リ・ユース)をしていくことは子どもたちの未来の資源を守るために大切なことです。歴代の役員さんが体操着のリサイクルを始めたのが最初です。今回は、体育着、洋服、靴、絵本まで多彩でした。多くの皆さんが利用されていてうれしかったです。

散歩に良いシーズンとなりました。自然と触れ合い、気持ちよい秋を堪能していきたいです。

【10月の伝言板】「適切な保育」とは、どう捉え、どう対処していったらいいのか。

適切な保育について考えてみたいと思えます。

保育は、養護と教育であると保育指針には謳われています。この養護について考えていくことが、適切な保育へと方向づける一つの道ではないかと思えます。

そこで、以下のことに心し、子どもたちと関わっていくことが大切であると考えます。

- ①子どもの心身の健康、安全が守られ、生理的な欲求が十分満たされること。
- ②子どもが、落ち着いて過ごせ、自分の気持ちを安心して表すことができること。
- ③子どもが主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育つこと。

これらができるように援助や関わり、言葉かけ、環境設定をすることが適切な保育につながると考え、ご家庭と園とが共有していけたらと思えます。

